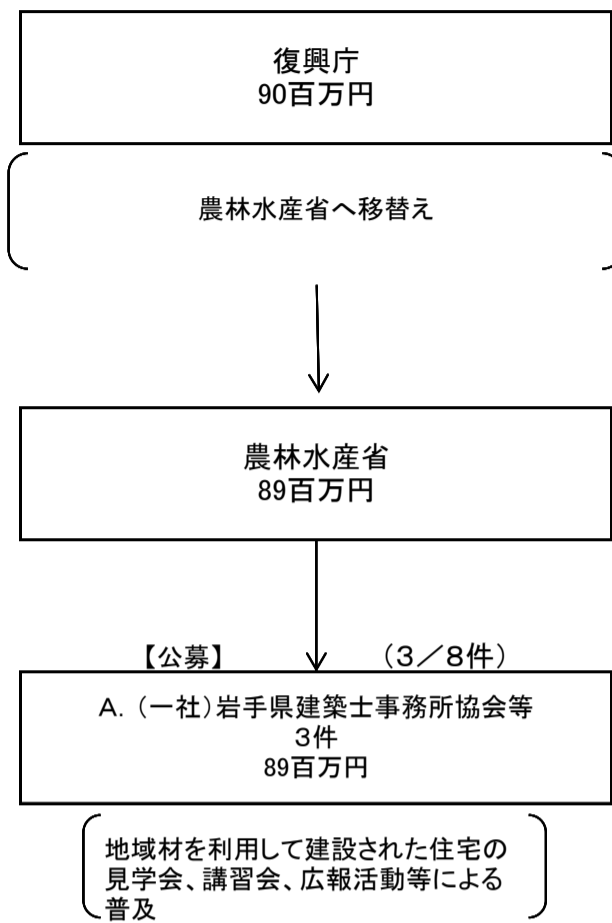


平成26年行政事業レビューシート

(復興庁)

事業名	復興に向けた木の暮らし創出支援事業		担当部局庁	復興庁		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度～平成27年度		担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)		参事官	大野 秀敏		
会計区分	東日本大震災復興特別会計		政策・施策名	政策:復興施策の推進 施策:東日本大震災からの復興に係る施策の推進					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	森林・林業基本法第25条		関係する計画、通知等	森林・林業基本計画(平成23年7月26日)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地域材を活用した木造復興住宅等の普及により、地域材の利用を促進し、被災地域の林業・木材産業の復興を図る。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	地域材を活用した、地域の文化や気候風土に調和した木造復興住宅等の建設を促進するため、地域材を利用して建設された住宅の見学会、講習会、広報活動等による普及に向けた取組を支援する。 (民間団体を公募により採択し、補助率:定額を支援)								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求			
		当初予算	-	-	90	90	90		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
	計	-	-	90	90	90			
	執行額	-	-	89					
執行率(%)	-	-	98.9%						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	23年度	24年度	25年度	目標値(27年度)		
	岩手県・宮城県・福島県における木造の新設住宅着工数	成果実績	戸	20,825	29,697	34,175			
		目標値	戸	-	-	40,000	40,000		
		達成度	%	-	-	85			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込		
	地域材を活用した復興住宅の見学者数や講習会等普及活動への参加者・動員者数	活動実績	千人	-	-	25	-		
		当初見込み	千人	-	-	30	30		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込		
	執行額 ÷ 参加者・動員者数	単位当たりコスト	円/人	-	-	3,560	-		
		計算式			-	-	89百万/25千人	-	
平成26・27年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由					
	復興住宅普及経費	90	90	-					
	計	90	90						

事業所管部局による点検・改善														
	項目	評価	評価に関する説明											
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	被災地域の森林資源の有効活用は震災からの復興や地域の産業振興に繋がるものであり、特に住宅等の木造化・木質化は、関連産業への波及や地元経済への雇用誘発効果が非常に高いと考えられ、地域の林業・木材産業の活性化に対する大きな効果が見込まれる。併せて仮設住宅等に避難している避難者等は約26万人あまり(平成26年3月時点)であり生活の基盤となる住宅の再建は重要である。											
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○												
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○												
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	・公募により選定された各支出先は、これまでも各県内の地域住宅生産者グループをとりまとめ、地域型復興住宅の普及促進について活動実績があり、今回の事業目的に合致した団体となっている。 ・経費は住宅再建希望者への普及活動(見学会、リーフレット等の作成)、地域の住宅生産者の生産体制強化に重点的に使われており、妥当なものとなっている。											
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○												
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○												
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○												
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○												
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○												
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	・活動実績は当初見込みを概ね達成しており、本事業によって地域材を活用した優良な復興住宅の地域住民への浸透が図られている。住宅再建の本格化が予想される平成26年度以降、さらなる普及活動及び供給体制強化活動の必要性が高まってくるものと思われる。											
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	△												
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○												
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業番号</th> <th>類似事業名</th> <th>所管府省・部局名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>			事業番号	類似事業名	所管府省・部局名						
	事業番号	類似事業名				所管府省・部局名								
点検・ 改善結果	点検結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業は、被災地域の関係者からの支援要望も強く、被災者の生活基盤となる復興住宅の建設は被災地域の復興に真に必要なものである。</li> <li>・本事業により、地域材を活用した木造復興住宅の普及や地域材製品等の開発・普及等の取組を支援することにより、地域材の利用を促進し、被災地域の林業・木材産業の復興が図られる。</li> <li>・本事業は活動及び成果に関する指標、事業効果を設けつつ、モデル住宅の建設費補助等の他の手段を検討した上で、より効率的な手段であると判断して事業を立ち上げている。</li> </ul>												
	改善の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も普及活動について開催頻度及びその集客力・訴求性のさらなる向上に努める。</li> </ul>												
外部有識者の所見														
点検対象外														
行政事業レビュー推進チームの所見														
現状 通り	地域材を活用した木造復興住宅等の普及による被災地域の林業・木材産業の復興を目的とした復興に資する必要性の高い事業である。引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。													
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況														
現状 通り	引き続き効率的・効果的な予算の執行に努めていく。													
備考														
関連する過去のレビューシートの事業番号														
平成23年	-	平成24年	13	平成25年	新25-036									



資金の流れ  
(資金の受け取り  
先が何を行っている  
かについて補足  
する)(単位:百万  
円)

A.(一社)岩手県建築士事務所協会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	技術者給及び職員給与	2.4			
人件費	普及事業での派遣職員給与	3.0			
需用費	普及用リーフレット作成等	11.6			
役務費	普及用リーフレット発送等	4.1			
委託費	(株)ロックス(普及番組制作委託)等	5.2			
その他	会議開催経費(会場借料、謝金、旅費)、職員旅費	3.7			
計		30.0	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

## 支出先上位10者リスト

## A.復興に向けた木の暮らし創出支援事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(一社)岩手県建築士事務所協会	岩手県内の地域材を利用した復興住宅の見学会、講習会、広報活動等を実施	30	8	—
2	(一社)宮城県建築士事務所協会	宮城県内の地域材を利用した復興住宅の見学会、講習会、広報活動等を実施	30	8	—
3	(一社)福島県建築士事務所協会	福島県内の地域材を利用した復興住宅の見学会、講習会、広報活動等を実施	29	8	—